

HSK なんれん

おとふけ

No.66

昭和 48 年 1 月 13 日 第三種郵便物許可

HSK通巻第 422 号

2007 年 5 月 10 日

毎月 10 日発行 (1 部 100 円)

(会費に含まれています)

編集：財団法人北海道難病連音更支部

発行：北海道身体障害者団体

定期刊行物協会 (HSK)

## お花見のご案内

- ◆ と き 2007 年 6 月 17 日(日) 午前 10 : 00 ~ 14 : 00
- ◆ 会 場 筒井温泉 (音更町オサルシ 1 番地 Tel 46-2301)
- ◆ 参加費 大人一名 1,000 円 (入浴、食事、飲物)  
子供一名 500 円 (小学生以下)
- ◆ 内 容 午前中 パークゴルフ (道具貸し出し無料)、  
ボーリング (一回 500 円、靴代含、自己負担)、  
入浴、散歩、雑談、卓球、ホッパゲーム他  
12 : 00 ~ 14 : 00 会食・スカットボール他
- ◆ 送迎バス 行き 10 : 00 音更町役場  
10 : 10 木野支所  
10 : 20 宝来、ひびき野  
帰り 14 : 00 温泉出発



- ◇ 自家用車の方は 10 : 40 までに会場へ集合してください。
- ◇ ボランティアによる介助者があります。
- ◇ 申し込み〆切 6 月 12 日(火)
- ◇ 申し込み先 難病連音更支部 Tel・Fax

# 感謝の心をもって

＝伊藤代表理事ご退任＝

支部長 大久保 龍雄

5月も半ばとなり、桜の花も散りはじめていますが、会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。今年の冬は例年になく暖かい日々が続き、いつもよりは暮らし易いように思えましたが、異常気象とのかかわりも一部報道され、心配の種は尽きません。

さて、昨年は「第33回 難病患者・障害者と家族の全道集会」が17年ぶりに十勝で開催されました。“誰もが安心して暮らせる医療と福祉社会を十勝から”のスローガンのもと900名を超える参加があり、音更支部からもボランティアを含めて33名の会員が参加をいたしました。炎天のもと参加された皆さん、ほんとうにご苦労様でした。

本年度の集会は、8月4日・5日の両日に札幌市において開催される予定です。難病患者と家族が抱えているさまざまな課題を解決するとともに、患者・家族の願いを広く社会にアピールする機会でもあります。お誘い合わせのうえ、多くの会員の方が参加されますようお願いしています。

過日、北海道難病連の総会ならびに全道支部協議会が札幌市で開催されました。会議の席で、伊藤建雄代表理事の退任が発表になりました。北海道難病連の創設から、全国難病連の先導的役割を担う組織にまで成長発展させてきた今日までの数々のご功績に対して敬意を表するとともに、そのご労苦に対し会員の皆様とともに心から感謝申し上げたいと思います。

音更支部の今年度の行事計画も出来上がり、新しい動きを始めています。会員の皆様が参加しやすいよう考えながら進めて参りたいと思っていますので、お気軽にご参加ください。

私たちは難病であっても、慣れた地域で必要な医療を受けながら福祉制度を利用して普通の暮らしが出来ることを強く望んでいます。患者会の三つの役割（①病気を正しく知ろう ②病気に負けないように ③本物の福祉社会をつくるために）を基盤として、みんなで支え合い励まし合って活動を進めていきましょう。

## 難病患者・障害者と家族のクリスマスパーティに参加して

平成 18 年 12 月 3 日(日)、音更町ふれあい交流館 (すずらんど) で第 16 回クリスマスパーティが開催されました。ボランティアを含めた約 100 名の参加者が集まり、ゲームや生演奏などを楽しみ、一足早いクリスマス気分を味わいました。

初めに、大久保支部長から「体を動かしたり、歌ったりして、元気を出しましょう」と挨拶がありました。続いて、音更町長代理として出席された今村 茂様 (福祉課長) より祝辞をいただきました。

「YOU・遊・とかち」さんによる YOSAKOI ソーランでは、参加者も輪に加わり、一緒に元気よく踊りを披露しました。また帯広大谷短大生が参加してビンゴゲームや帯広のアマチュアバンド「パパサンズ」による生演奏も大いに盛り上げてくれました。

会場には音更たんぽぽの会の無料飲み物コーナー、どんぐりの家共同作業所のフランクフルトやクッキー、難連支部のわたあめなどの出店が並び、雰囲気盛り上げました。

家族的な暖かさを感じるパーティとなり、来年もこのような楽しい時間を過ごしたいと思います。最後に多くのボランティアの皆さん、ご支援ありがとうございました。

音更支部運営委員 村中 ルミ子



(YOSAKOI ソーランで盛り上がる参加者)

## 難病連道東地区 支部役員研修会に参加して

副支部長 荒 重勝

2月24日(土)～25日(日)厚岸町ホテル五味にて、道東地区役員研修会が開催されました。

道東地区の8支部が集まり、今年度は厚岸・浜中支部が世話役及び司会進行等を担当し、音更支部からの3名(大久保支部長、穀内運営委員、荒)も含め、総勢50名ほどの参加者でした。

今回の研修会は、特定疾患から対象外疾病になる恐れがあったパーキンソン病・潰瘍性大腸炎が、継続して特定疾患治療費の補助が認められた安堵感と、その反面自分たちの特定疾患は大丈夫かという危機感の中での開催でした。

厚岸町長の若狭靖氏の挨拶では、町の福祉計画の中にノーマライゼーションの立場を盛り込み、難病対策に対し財政面も含め出来る限り支援したいと語っていました。

1日目の午後、町立厚岸病院内科医長の寺田豊先生より「健康食品(サプリメント)について」の講話がありました。現在、健康食品が多く出回っていますが、健康被害が出ないように自己責任で管理する事が肝要であるとの事でした。休憩時間の合間には、地元同好会によるフラダンス、腹話術などで雰囲気や和みました。

2日目の研修は、DVD学習「自立を支援することの意味を考える」と題して、北星学園大学社会福祉学部助教授の田中耕一郎氏の説明を受講しました。

この講義で田中先生は、1949年に設立された身体障害者福祉法と現在の障害者自立支援法における障害者の解釈及び支援方法等の違いについて、熱っぽく語っていたことが印象的でした。この研修会で学び得たことを、地域の医療・介護・福祉などに積極的に活用していきたいと思えます。

最後に、来年度開催担当の釧路支部を代表して、佐藤信洋支部長から挨拶があり、全日程を無事に終了いたしました。



研修会の様子



華麗なフラダンス

## 北海道難病連音更支部の観劇に参加して

難病連音更支部の行事の1つとして3月18日に十勝川温泉 笹井ホテルで、観劇が行なわれ、私も参加致しました。

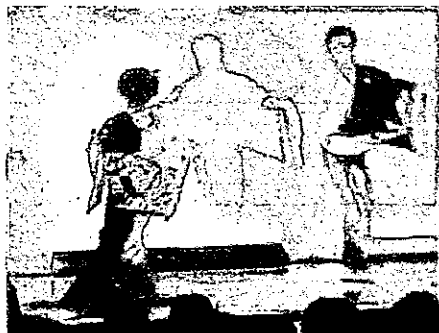
しばらくぶりで仲間の方々にお会い出来、皆様元気な様子で何よりでした。老健十勝にこもりっきりの私には大変楽しいものでした。

観劇は大衆演劇の「劇団 舞姫」の公演でした。劇団の名前通りに舞踊が中心で、芝居は人情話1つでした。踊りは座員一同頑張っている姿がいいなと思いました。年少の子どもさんは切れのある踊りで、これからが楽しみでしょう。大人の方は自信を持った踊りで良かったし、座長はさすがに凛とした情感豊かな踊りでいいなと思いました。

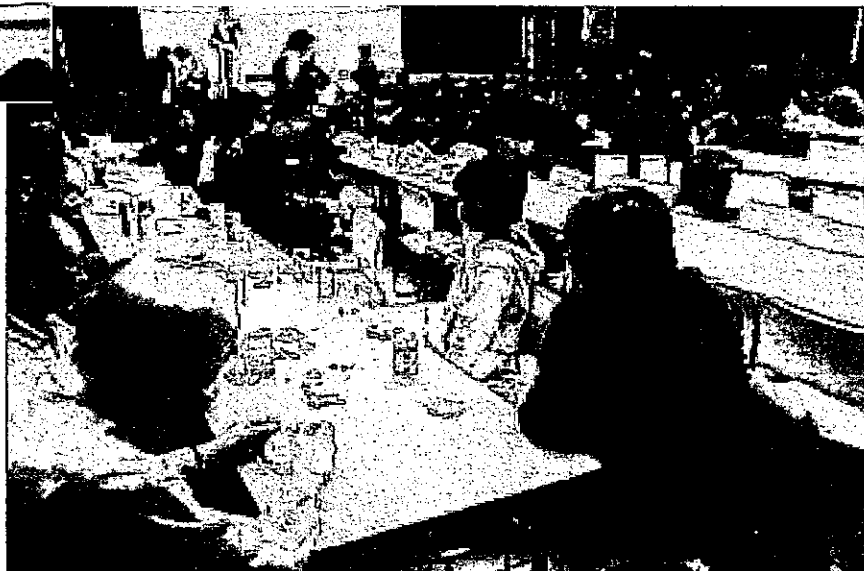
私の若い頃の踊りはゆったりしたものが多かったのですが、時代は変わると申しますか、現代の踊りは歯切れの良いビートのリズムに乗って動きが早く、パワフルな踊りが多くて驚きましたが、私もビートのきいた音楽は好きなので楽しめました。芝居の方は大衆演劇そのもので、わかり易く笑いあり涙ありで楽しめました。

私は車椅子で歩行は無理な状態ですので荒さん御夫妻に大変なお手伝いをいただき、会場では音更のボランティアの方に気を使っただき、厚く御礼申し上げます。

会員の方々にはこれからもずっとお元気でお過ごしできますよう、お祈りしております。



平成 19 年 3 月 大山 広



# 2006年 度 活 動 報 告 No.1

活動月	内 容	場 所	人 員
4 月	支部総会	木野コミセン	7人
5 月	役員会	木野コミセン	6人
	北海道難病連評議員会	札幌	1人
	全道支部協議会	札幌	1人
	機関紙会議	事務局	4人
	機関紙「なんれんおとふけ」No.64 発行		
6 月	十勝支部役員との話し合い	木野コミセン	8人
	役員会	木野コミセン	6人
	お花見会	筒井温泉ホテル	19人
7 月	全道集会ボランティア講習会	十勝合同庁舎	2人
	福祉まつり in おとふけ参加	総合福祉センター	5人
	町障害福祉計画策定委員会	総合福祉センター	1人
8 月	第33回全道集会ボランティア協力		3人
	〃 歓迎レセプション	ホテルノースランド	5人
	〃 分科会、全体集会	帯広市民文化ホール他	30人
	「どんぐりの家共同作業所」NPO法人に移行		
	役員会	木野コミセン	6人
9 月	全道集会反省会（十勝支部）	ノースランド	2人
	佐々木恵美子道議と語る野外交流会	音更文化センター野外	4人
	町障害福祉計画策定委員会	総合福祉センター	1人
	役員会	木野コミセン	6人
10 月	役員会	木野コミセン	5人
	防災講演会（町総務課 工藤参事）	木野コミセン	12人
	役員会	木野コミセン	6人
11 月	機関紙会議	事務局	3人
	機関紙「なんれんおとふけ」No.65 発行		
	役員会	木野コミセン	7人
	第16回クリスマス実行委員会	ふれあい交流館	6人
12 月	クリスマスパーティ	ふれあい交流館	96人
	役員会	木野コミセン	6人
	障害福祉計画策定委員会	総合福祉センター	1人

## 2006年 度 活 動 報 告 No.2

活動月	内 容	場 所	人 員
1 月	役員会	木野コミセン	7人
	障害福祉計画策定委員会	総合福祉センター	1人
	佐々木恵美子道議新年交礼会	共栄コミセン	1人
2 月	道東地区支部役員研修会 1泊2日	厚岸町	3人
	障害福祉計画策定委員会	役場	1人
3 月	観劇	笹井ホテル	17人
	役員会	木野コミセン	4人

- 日本難病・疾病団体協議会（JPA）国会請願署名 78筆、募金 3,000円  
 （北海道ソーシャルワーカー協会東支部様、役場福祉課様、厚生病院相談室様、ほっと・ぷらっと様他）
- 募金箱設置場所
  - ・向平健康堂薬局様
  - ・十勝勤医協柳町医院様
  - ・帯広徳洲会病院売店様
  - ・JA木野第2給油所様
  - ・海鮮蔵様
- 相談件数 ①電話にて 5件
  - ・町の通院交通費について
  - ・障害者年金、福祉制度について
  - ・医療費、入院時食事代について
  - ・受給者証手続きについて
  - ・薬代について
- ②訪問 1件
  - ・難病連及び患者会の説明
- 協力会員 19名
- 会 員 2007年度4月1日現在 103名

財団法人 北海道難病連

2006年度 支部決算報告書

自 : 2006年 4月 1日

至 : 2007年 3月 31日

支部名 音更支部

収入の部

科 目	2006年度予算	2006年度決算	備 考
支 部 運 営 助 成 金	92,000	92,000	道難病連助成金
市 町 村 補 助 金	270,000	270,000	音更町より
そ の 他 の 助 成 金			
参 加 費 収 入	80,000	77,500	花見、クリスマス、観劇
寄 付 金 収 入		50,000	町、個人2名様
協 力 会 還 元 金 収 入	40,000	22,250	道難病連協力会
募 金 箱 還 元 金 収 入	10,000	1,940	道難病連募金箱
署 名 募 金 還 元 金 収 入	10,000		J P A 国会請願署名募金
販 売 事 業 収 入	13,000	1,530	正月飾り
そ の 他 の 事 業 収 入	30,000	28,850	中古本、綿菓子、協賛広告還元
受 取 利 息 収 入		119	
雑 収 入	462	6,450	クリスマス景品売上げ
難病連事業参加助成金収入	60,000	23,620	全道支部協議会、全道集会他
医療講演会助成金収入	10,000		
積 立 金 取 崩 収 入			
前 期 繰 越 金	34,538	34,538	
収 入 合 計	650,000	608,797	



支出の部

科 目	2006年度予算	2006年度決算	備 考
会議費	60,000	43,600	
支部役員会	30,000	26,100	交通費、資料代
本部会議費	30,000	17,500	全道支部協議会、評議員会
その他の会議費			
事業費	461,000	367,131	
地区集会費			
全道集会	80,000	23,120	帯広市参加補助
医療講演会	20,000	5,304	防災講演会
検診相談会			
機関紙・誌費	50,000	11,109	会報年2回発行
研修会	50,000	49,816	厚岸町1泊2日3人宿泊旅費
レク・交流会費	200,000	210,766	花見、クリスマス、観劇
地域部会援助費			
相談員補助			
活動費	50,000	55,916	ボランティア保険、交通費他
負担金・分担金	8,000	8,000	JPA国会請願
HSK負担金	3,000	3,100	第三種郵便
拠出金			道難病連「患者・家族団体活動育成基金」
維持運営費	129,000	72,101	
事務局費	30,000	9,000	備品修理
事務消耗品費	50,000	22,411	封筒、コピー紙他
通信費	40,000	40,690	電話、切手、ハガキ
交通費			
資料費	9,000		
雑費			
積立金支出		70,000	
予備費			
支出合計	650,000	552,832	
次期繰越金		55,965	

財団法人 北海道難病連

支部会計監査報告

支部長 様


記


- 1、支 部 名            音更支部
- 2、2006 年度            支部決算報告

上記の件について、厳正なる監査の結果、適正であることを報告いたします。

平成 19 年 4 月 4 日

支部会計監査

氏名 飛 鷹 清 広  印

氏名 荒 重 勝  印

## 2007年度 活動計画について

月	日	内 容	場 所
4月	11日	支部総会	木野コミセン
5月	12日	(財)北海道難病連評議員会	札幌市
	13日	全道支部協議会	札幌市
		会報発行	
6月	17日	お花見会	未定
		道東地区支部協議会	釧路市
7月	29日	福祉まつり in おとふけ	総合福祉センター
8月	4日・5日	第34回 北海道難病連全道集会	札幌市
9月		医療講演会・相談会	木野コミセン
11月		クリスマス実行委員会	ふれあい交流館
		会報発行	
12月	2日	第17回クリスマスパーティ	ふれあい交流館
1月		会報発行	
2月		観劇	笹井ホテル
3月	15日	(財)北海道難病連会計監査・実務担当者会議	札幌市
	29～30日	難病連道東地区支部役員研修会	釧路市

## 財団法人 北海道難病連

## 2007年度 支部会計予算書

自 : 2007年 4月 1日

至 : 2008年 3月 31日

支部名 音更支部

## 収入の部

科 目	2006年度決算	2007年度予算	備 考
支部運営助成金	92,000	92,000	道難病連助成金
市町村補助金	270,000	270,000	音更町より
その他の助成金			
参加費収入	77,500	80,000	花見、クリスマス他
寄付金収入	50,000		
協力会還元金収入	22,250	40,000	道難病連協力会
募金箱還元金収入	1,940	10,000	道難病連募金箱
署名募金還元金収入		10,000	JPA国会請願署名募金
販売事業収入	1,530	5,000	正月飾り
その他の事業収入	28,850	16,000	古本他
受取利息収入	119		
雑収入	6,450	1,035	
難病連事業参加助成金収入	23,620	60,000	支部協議会等旅費他
医療講演会助成金収入		10,000	講演料他
2.19募金還元金収入			
積立金取崩収入			
前期繰越金	34,538	55,965	
収入合計	608,797	650,000	

支出の部

科 目	2006年度決算	2007年度予算	備 考
会議費	43,600	60,000	
支部役員会	26,100	30,000	
本部会議費	17,500	30,000	
その他の会議費			
事業費	367,131	496,000	
地区集会費			
全道集会	23,120	200,000	札幌1泊2日貸切バス
医療講演会	5,304	20,000	講演料他
検診相談会			
機関紙・誌費	11,109	30,000	会報年3回発行
研修会	49,816	30,000	役員研修(釧路1泊2日)
レク・交流会費	210,766	150,000	花見、クリスマス他
地域部会援助費			
相談員補助			
活動費	55,916	55,000	ボランティア保険、交通費他
負担金・分担金	8,000	8,000	JPA国会請願
HSK負担金	3,100	3,000	第三種郵便
拠出金			道難病連「患者・家族団体活動育成基金」
維持運営費	72,101	94,000	
事務局費	9,000	20,000	備品修理、事務局手当
事務消耗品費	22,411	30,000	トナー他
通信費	40,690	40,000	電話料、切手他
交通費			
資料費		4,000	
雑費			
積立金支出	70,000		
予備費			
支出合計	552,832	650,000	
次期繰越金	55,965		

## 2007年度 音更支部役員

役 職	氏 名	部 会
支 部 長	大久保 龍雄	バージャー病友の会
副支部長 (監査兼務)	荒 重 勝	後縦靭帯骨化症友の会
事務局 長	穀内 さかえ	ベーチェット病友の会
会 計	竹内 淑子	心臓病の子供を守る会 (心友会)
監 査	飛鷹 清 広	腎友会 (人工透析)
運 営 委 員	榎本 基	後縦靭帯骨化症友の会
〃	宮内 浩子	あすなる会 (橋本病)
〃	村田 美由紀	潰瘍性大腸炎・クローン病友の会
〃	児玉 香枝子	小鳩会 (ダウン症候群)
〃	村中 仁志	脊髄小脳変性症友の会
〃	村中 ルミ子	脊髄小脳変性症友の会
〃	荒 恵美子	後縦靭帯骨化症友の会
〃	穀内 律雄	ベーチェット病友の会

★ (財) 北海道難病連評議員 荒 重勝

### 事 務 局

(財) 北海道難病連 音更支部事務局  
音更町

# G-button.

“簡単・便利” “マグネットの自然な力で!” “知らず知らずにも留まる” “驚き”  
 毎日着る服だから簡単に留るボタンがほしい。そんな声で北海道と共同で開発 (特許申請中)

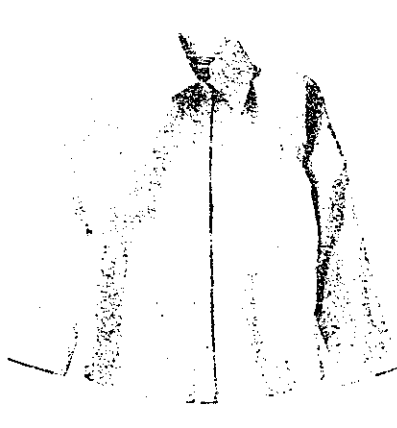


## ユニバーサルファッションの新しいカタチ

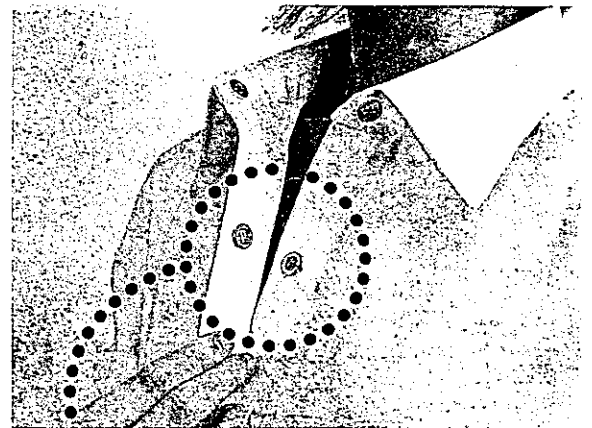
「かんたん・べんり」家庭で糸と針で簡単縫い付け “マグネット釦”



5ヶ組 特別価格  
 1,050円 (税込)



既製服にG-buttonを取り付け  
 リフォーム完成



G-button (マグネット) ボタン取り付け箇所  
 ブラウスの左右の重ねが合ったところ  
 (打合せ) に縫い付けます。

### 【Gボタンご使用のお客様からの声】

- ◆ ALS (筋萎縮性側索硬化症)  
 着替えるときは、早くできるように前の夜に第3ボタンまで留めておいて、朝は大急ぎで被って着て (それも大変) 他のボタンを20分以上かけてやっとの思いで着ていましたが、G-buttonを使ってからは、準備もいらず、朝の着替えがとても楽になりました。
- ◆ 小児麻痺 (少女の母より)  
 いつの頃からか、自分で着替えるを諦めるようになってしまい毎日着替えるをさせていましたが、このG-buttonを使用してからは、自分で服を選び「ママ自分一人で着れるよ!」と喜んでおります。
- ◆ [男性]  
 ワイシャツのボタンを全て、マジックテープに取り替えていました。このマグネットボタン便利そうですねー。仕事に毎日ワイシャツを着なくてはいけないのですが、これだと普通のワイシャツと変わりなく見えて、しかも楽々着替えができて、とても便利。まさにUD (ユニバーサルデザイン) ですね!!
- ◆ [女性 (2歳の母)]  
 「わーい、できた!自分で留めれた」何度も何度も着ては脱ぎを繰り返しては喜んでいました。保育園でのお着替えもこのGボタンつきの服なら自分で着替えをしているようです。



東京テレビ (トレンドイーターマゴ)  
 取材2006年 1月17日

代金  
 引換

郵便  
 送金

銀行  
 振込



【製造メーカー】



株式会社 ワールドワーク

〒080-2472  
 北海道帯広市西22条南4丁目17番地6  
 TEL 0155-35-5463  
 FAX 0155-35-5283  
 E-mail: info@g-button.jp  
 URL: http://g-button.jp/

担当者 黒澤・川道

## お 知 ら せ

★ 音更支部の村中 仁志さんが4月1日、訪問介護事業所及び介護タクシー事業所「勇仁凱 ケアセンター」を開設しましたので、ご利用ください。

◆住所 音更町新通2丁目4番地 Tel・Fax 0155-42-3219

◆営業日 毎週月曜日～日曜日

◆営業時間 8:30～17:30 サービス提供時間6:00～22:00

◆サービス内容 ヘルパー派遣、介護タクシーによる通院介助等のサービス

◆介護保険のほかに、障害者自立支援法のサービスも利用できます。

★ 福祉祭りで販売する中古本・CDを集めています

7月29日(日)に予定されている「福祉祭り in おとふけ」に出店して、綿菓子や中古本・CDを販売します。

小説・雑誌・文庫本・子供本・マンガ本等、ご協力お願いします。売上金は活動費として使わせて頂きます。

★ 第34回難病患者・障害者と家族の全道集会（札幌市）

音更支部の取り組みについて：

8月4日(土)・5日(日)、1泊2日の日程で貸し切りバスにて参加します。

参加される方の参加費には補助があります。

詳細は、全道集会が近づきましたら案内ハガキを出しますので、ご家族で参加しませんか。

### HSK・なんれん おとふけ

編集人 (財)北海道難病連音更支部 大久保龍雄  
〒 音更町

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可

2007年5月10日発行 通巻第422号

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川久美子